

(第3種郵便物認可)

# 石狩産食材でハンバーガー

【石狩】石狩産の豊富な山海の幸を使ったオリジナルバーガーを売り出そう。市内の飲食店主らが地元の大女子学生などと協力し、ご当地グルメ「北海道いしかりバーガー」の開発に乗り出した。年内の販売開始を目指す。店主らは「石狩の新しい名物を作り、観光客の誘致や地域の活性化につなげたい」と張り切っている。

(岩瀬貴弘)

開発に取り組むのは、ニティビジネスモデル創用した店舗オリジナルの焼き鳥店主の田村学さんと市内の飲食店主八人と申出支援事業に選ばれ、市ニタイプがある。共通タムは、つくねやタコ島測量設計の中島量さんは事業費の一部補助や会イブは藤女子大人間生活を使った教種類のオリジナル

## 市内飲食店主らが開発へ

# サケなど具材に

年内にも販売

でつくる「北海道いしかり」計の専門家による助言な学部の池田隆幸教授のセナルバーガーを考案中のバーガーF.C」。材料どを通じて事業を支援すミ生と協力し、サケなどで、「石狩の新しい名物」のパンや包装紙などを一括購入してメンバーに卸いしかりバーガーは各する考えだ。価格は三百人を呼び込みたい」と意したり、共通の宣伝を行店共通と、メンバーの飲一五百円台を想定してい気込む。

代表幹事の中島さんは

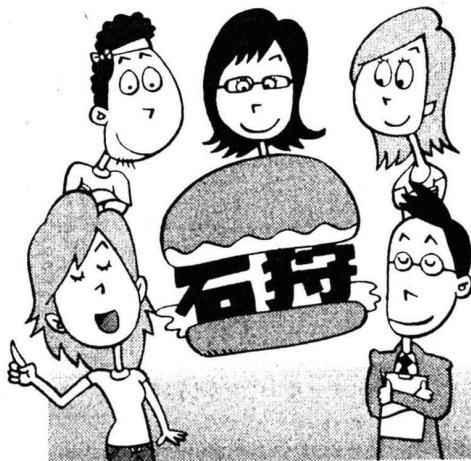
「ハンバーガー作りは、既存の店舗が新たに設備投資をしなくても簡単に取組める。オール石狩で取組みたいので、厚田、浜益の飲食店にも参

「カナストリー」を開発している。

いしかりバーガーへの問い合わせは中島代表幹事74・2567(中島測量設計内)へ。

加してほしい」と呼びかける。

石狩では地ビール会社日本地麦酒工房と同じ池田教授のゼミ生が発泡酒



# 街のうた

石狩市厚田区の「恋人の聖地」で結婚式を挙げた同市内の会社員細川貴憲さん(38)と飲食店主の理香さん(33)は今年二月、約一カ月ぶりに恋人の聖地を再訪した。

後志管内ニセコ町への「プチ新婚旅行」からの帰り道、理香さんがふと恋人の聖地に立ち寄ることを思い立った。「忘れられない結婚式だったので、二人でその余韻を染めたいと思って」

「プロポーズの日」の六月三日。恋人の聖地では、初めてとなる結婚式だった。石狩湾を一望できる高台に立つと、しゃれた式を企画

## 恋人の聖地

は、数組の若いカップルが結ばれてほお手伝いをして、

「応援したい」と

(岩瀬貴弘)

